

主役は、 あなたである！



大阪YMCA
会長
なかがわ よしひろ
中川 善博

私達は、YMCAを人生の中で、どのように位置づけているのだろうか。人によって異なるし、関わり始めた時期や関わり方によっても違って来る。関わり始めた時期は子供の頃、あるいは青少年期や成人・高齢期と様々であるし、関わり方も、ウェルネスや国際関係、語学・学校、幼稚園や保育園、また高齢者や障がい者・被災地支援などの財的サポーターとして、さらにワイズメンズクラブをも合わせると多様である。

もっとも、そのような事はあまり意識しないし、考えてもみないというのが普通であろう。しかし、意識の有無に拘らず、YMCAで学んだり活動に参加したりすることが続くと、YMCAと云うクラウドに、いつの間にか包みこまれていることが分かる。知らず知らずのうちに、生活のリズムの中に溶け込み、生き方のベースにも影響していることに気付く。

私とYMCAの関わりは、学生YMCAであった。思えば、丁度学生YMCAの全盛期で、どちらかと云えば、伝統的に都市YMCA運動の在り方にクリティカルな姿勢をもつ時代であった。そのような中で育った私が、大阪YMCAのエクステンション事業として計画された豊中地域活動に関わることとなり、以来YMCAとの関わりは中断を経ながらも今日まで至っている。私自身の関わりは、プログラムへの参加とか学校で学ぶと云う形ではないので、変則的かも知れない。そのため、YMCAの使命や働きに自己の役割を問いつつ、自らの生き方と重ね合わせる歩みかなと思える。

関わりがどのようなものであれ、YMCAは人との出会いの場・自己実現の場であり、心許せる空間でもある。「聖書に示された、愛と奉仕の生き方に学ぶ」と云うYMCAの精神の下、YMCAは幼少期から高齢期に至る人々の、全人的な成長の場となることを願っているが、人はYMCAのプログラムや学び・活動に触れ、出会いを通して、育てられてきた。これこそが、人を育むYMCAの最も大きな使命であり役割である。

一方、YMCAは古くから、会員運動として活動や運営が担われて来たユニークな組織体である。そして、社会や時代の変化は、YMCAが果たすべき活動領域を拡げ、法人組織の専門化を進め、公益性が強く求められるとともに会員の概念も変化してきた。大阪YMCAの新しい会員制度は、伝統的な精神を活かしつつ、YMCAのさまざまな分野で主体的に活動する、ボランティアグループが結集した全Y組織としてのボランティア協議会を軸に、パワフルなボランティア組織を目指している。そのため、各法人の事業や拠点の活動をサポートするボランティアや、そこから派生する多様な問題や社会的課題に取り組むボランティアの活動が、全体につながって活力を生み出す点で、極めて大事である。まずは、一人一人が、ボランティア会員として関わるのが第一歩と云える。

さあ！楽しみつつ、やり甲斐ある自分に合ったボランティア活動に参加しようではないか！そこには、間違いなく良き出会いがあり、働き甲斐のある活動があり、生き活きた人生のページが開かれるに違いない。主役は、あなたである！

INDEX

・主役は、あなたである！	1P
・第2回東アジアYMCAアーバンネットワーク会議報告 ・グローバルプログラム	2P
・2013年度海外出向者報告	3P
・2014年度年間聖句・讃美歌 ・食育コラム ・フィリピン台風被災地支援募金報告 ・早天祈禱会 ・会員 ・賛助会員 ・クリスマス献金	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

The 2nd East Asia YMCA Urban Network Conference

第2回東アジアYMCAアーバンネットワーク会議報告

(会場: 韓国ソウル、インチョンYMCA)

グローバル推進室 室長代理 さいとう かおる 齊藤 薫



参加YMCA
ソウルYMCA、インチョンYMCA、上海YMCA、スリランカYMCA同盟、マンダレーYMCA、台中YMCA、南投YMCA、香港中華YMCA、大阪YMCA(事務局)

この他加盟しているYMCA
台北YMCA、台南YMCA、シンガポールYMCA



昨年2月に大阪YMCAで開催された東アジアYMCAアーバンネットワーク会議(EAYUN)の第2回会議が、韓国のソウルYMCA、インチョンYMCAを会場にして開かれました。今年は昨年までの参加YMCAに加え、上海YMCAを新たに迎えました。「Challenge: Solidarity among multi-generations」(チャレンジ: 多世代間の連携)というテーマを掲げた今回の会議ではユース育成、高齢社会への取り組み、グローバル教育などアジアのYMCAの共通する社会の課題に対し、情

報を共有し、共働での取り組みの可能性について活発に協議が行われました。また、前回の会議後、今まで交流のなかったそれぞれの加盟YMCA同士での公式訪問が行われており、着実にネットワークが広がっていることも確認されました。この広がりが大阪YMCAの事業やボランティアに今後浸透していきますが、ぜひ皆さんも積極的に活用してみませんか? 次回の会議は2015年5月に上海YMCA主催で開催されます。

大阪YMCA(上半期)のグローバルプログラム

2014年度、皆様のお近くのYMCAにおいて、次のようなことが予定されています。それぞれのボランティアグループや事業所において期間中受け入れの青年たちと交流の時を持てればと考えておりますので、詳細は後日ホームページ等にてお知らせいたします。

【インターンシップおよびスタッフ研修受け入れ】

主な受け入れ先	期間	人数	募集地域
いきいきエイジングセンター、サンホーム	4/15~5/15	スタッフ1名	台湾・南投YMCA
	調整中(7月頃)	スタッフ1名	台湾・南投YMCA
北摂YMCA しるがね・松尾台幼稚園	6月~7月	大学生5~6名	香港中華YMCA
いきいきエイジングセンター、サンホーム	6月~8月	大学生5名x2グループ	台中YMCA (朝陽科技大学)
	学校事業	6/13~7/13	大学生2名
グローバル推進室	6月~8月(調整中)	スタッフ1名	サンフランシスコYMCA
六甲山YMCA	6月~8月(調整中)	スタッフ2名	ホノルルYMCA
六甲山YMCA	7/14~8/11	大学生5名	EAYUN加盟YMCA
YMCA阿南国際海洋センター		大学生10名	
地域YMCA		大学生4名	
紀泉わいわい村		大学生4名	

すべての受け入れ先、日程、人数、参加地域などは変更する場合があります。



【“チャレンジ30プロジェクト”によるグローバルリーダーシップ養成プログラム】

現在総合職40名が約13グループに分かれて準備中です。5月頃概要が確定し、6月7日に中間報告が、7月11日~13日のグローバルフェスタ(仮称)にて発表が、それぞれ行われる予定です。

【グローバルフェスタ(仮称)】

海外の青年と、関西に住む青年がグローバルイシューについてともに考え学び、アクションをおこすための国際キャンプです。

と き…2014年7月11日~13日

と ころ…六甲山YMCAほか

※期間中滞在している海外からのインターン生も全員参加します。

2013年度 海外出向者報告

グローバルで 刺激的! 香港生活で学んだこと

YMCA松尾台幼稚園 スタッフ おきた めぐみ 秋田 恵美



約1年間の香港生活で、香港の社会の国際化が進んでいることに驚き、多くのことを学びました。幼稚園から英語に触れ、中学、高校、大学で英語教育が重要視され、また徹底されています。語学を習得し、様々な角度から物事をとらえ、多様化した世界に目を向ける一日本にも必要なことですが、ただ、国際化するだけでなく、日本の文化や社会の素晴らしさ、守るべきもの、見直さなければならない点を考える必要があります。一人ひとりが自分の生きる国についての教養がなければ、世界にも発信、アピールできないことに気づきました。世界を学ぶ前に日本という国について子どもたちと考えていきたいです。

また、幼児期の教育環境の重要性も改めて感じました。香港の子どもたちも、新しい何かを学ぶときの目の輝きは、日本と同じでした。違う国の私の存在を受けとめ、関わろうとしてくれる姿に感動し、幼稚園児でも、国際感覚が自然に身についているのを感じました。今回、日本と香港の幼稚園との間で手紙やビデオ、リアルタイムでの交流を経験した子どもたち。幼い頃から世界の友だちと繋がり、視野を広げることで、柔軟な心が育ち、将来に大きく影響を与えることと思います。両園の関係を継続させ、さらに深めていけるように努めたいです。

日本社会での日常生活の中では、世界を身近に感じられる機会はほとんどなく、周りの人や環境で大きく変わります。世界と繋がれるYMCAだからこそ出来るがたくさんあり、世界中のYMCAと関わっていたら素晴らしいと感じました。

日本人補習校では、香港で生活しながらも日本の言語や文化を学ぶ幼稚園で活動しました。日本での経験を多くに生かせる場であり、実際に希望者が多く、日本人のためのこのようなクラスがもっと増えることを願います。香港に居ながらも日本にも友だちをたくさん作ってほしいという思いから、日本の幼稚園と繋がる活動にこれから挑戦したいと思います。

海外生活では、困難もありましたが、そこで何事に対しても前向きに自分を信じ、勇気を持ち、挑戦することで何かが変わることを身を持って感じ、私の人生の柱となるものを学んだように思います。この経験を子どもたちに伝え、色んなことにチャレンジできる心が育ってほしいです。帰国してもこのことをずっと覚え、より良い人間、教員となり、子どもたちと豊かな時間を過ごしていきたいです。



ソウルYMCA海外出向を終えて

北YMCA スタッフ たけなか とよあき 竹中 豊明

約1年間の韓国ソウルYMCAでの出向期間を終えました。英語も韓国語もほとんどわからない私を、安総主事をはじめ大阪YMCAに研修に来たことがあり、各館長、所長が優しく迎えてくださいました。出向期間中は、主に江南YMCAで体育・水泳指導を行ない、アギスポーツ団、キッズアカデミーの幼稚園の子ども達と過ごしました。また、様々な行事にも参加させていただき、創立110周年記念式では日本語翻訳の補助として関わらせていただきました。



特別講師の先生や延世大学語学堂で韓国語を学び、少しずつコミュニケーションをとれるようになることで子どもたちとの会話も増え、日々の生活が充実していきました。また、劉さんがボランティアで行っている日本語教室に講師として参加し、大学生のリーダーや様々な企業の方と各国の文化や表現の違いを学び合うことができました。

ソウルYMCAでは人間関係の大切さを改めて感じました。スタッフ間のコミュニケーションはもちろん、対外的に



もサッカーやレスリングの元韓国代表選手の招待、有名ブランド企業の協賛、行政や地域、市民との連携などにおいて、YMCAが中心になっていと感じました。大阪YMCAもより深く行政や地域、市民と関わり、共にこれからの未来を考えていけるようにしていきたいです。

また、世界のコミュニケーション言語として英語を話せなければならぬと感じました。原発問題、福島では今どんな問題があるか、竹島問題、日本人はそれらをどう考えているのか…発音の美しさ、文法などではなく、自分の意見があって自国を語れることが大切で、ICYEE(世界各地からソウルYMCAに研修に来ている学生)の若者は意見を伝え合い、考えていました。



今後は、英語も学びながら1年間で学んだ韓国語を使って、大阪YMCA、関西韓国YMCAや教会を始め、在日の韓国の方との交流会にも積極的に参加し、ソウルと大阪のYMCAの関係だけではなく、韓国と日本を知っている一人として、グローバル社会のチェンジメーカーになりたいと思っています。

このような経験をさせていただいた大阪・ソウル両YMCAの皆さんと、今回出会った様々な人たちに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。





醗酵食品 ～味噌のパワー～

にしかわ
YMCAとさぼり保育園 西川 さおり

新年度が始まりました。新しい環境への変化で体調を崩しやすくなる時期でもあります。体調管理には食事も大切なポイントになってきます。特に朝食は大事です。朝食の定番の味噌汁は体を温め一日の活動のエネルギー源にもなります。今回は「味噌」についてお話ししたいと思います。

味噌の主な原料は大豆、麴、塩です。そして郷土色の強い調味料で地域によって味もさまざまです。例えば、九州では麦味噌、関西では甘めの白味噌、東海では長期間熟成させる赤味噌、東北の寒い地域は塩分が高めの仙台味噌が有名です。栄養は、たんぱく質、ビタミン類、イソフラボンが豊富に含まれています。また、麴を使用して醗酵が加わっているので、大豆よりも消化吸収力の高い食品です。



YMCAとさぼり保育園では毎年春を迎える前に子どもたちが3日間に分けて味噌づくりを行っています。初日は乾燥大豆の感触を確かめて洗います。2日目は一晩浸水して膨らんだ大豆と乾燥大豆とを比較して、厨房で柔らかくなるまで煮ます。3日目は煮た大豆をビニール袋に入れて掛け声をかけながら足を使って踏んでつぶしたものを、塩と麴を入れたボールの中で耳たぶの柔らかさになるまで練り上げます。それを団子状にして容器の中にすき間が出来ないように詰めて、冷暗所に保管しています。

半年以上寝かしてから、秋ごろ、一つ進級した子どもたちがその味噌を使って味噌汁づくりや味噌クッキーを作って味わっています。



フィリピン台風被災地支援募金ご報告

フィリピン台風30号被災地支援募金に340,738円(2月末日現在)が集まりました。皆さまから寄せられました募金は、公益財団法人日本YMCA同盟を通して、アジア・太平洋YMCA同盟に送金され、世界中から寄せられる募金とともにフィリピンYMCAによる支援活動に用いられます。感謝をもってご報告させていただきます。

大阪YMCA早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第252回 日 時…2014年4月18日(金)7:30～8:30

奨 励…古澤 秀利さん
(高槻聖マリア教会 執事)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL:06(6441)0894 E-mail:info@osakaymca.org

2014年度

「基本方針」「年間聖句」「年間讃美歌」が決まりました。

2014年度 大阪YMCA基本方針

「**変革とチャレンジ!**
ユースと共に」

2014年度 年間聖句

「**救し合いなさい。**
主があなたがたを救ってくださったように」
(コロサイの信徒への手紙3章13節)

2014年度 年間讃美歌

讃美歌21 566番 「**むくいを望まで**」

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2014年2月度報告

【新規会員】

浅井 駿
奈良岡 義
平野 朱音
和田 直人

【継続会員】

池田 俊一郎
池田 勝一
石原 航平
上村 芳雄
沖 航太
木村 祐子

櫛辺 悠介
古藤 菜央
坂本 美和
谷 正一
谷村 睦
劔 美穂
浜崎 正三
早瀬 和人

松山 隆義
峯本 恵子
森田 勝也
横井 梨恵

【継続賛助会員】

株式会社イマイチ
株式会社藤木工務店

■クリスマス献金へのご協力に感謝申し上げます。

2014年2月度報告

青柳 清美
新井 綾乃
新井 陽子
井関 友香
井上 真希
今井 利子
岩田 晋
上川 遥希
上野 綾子
上原 玉音
梅澤 言海
浦川 哲也
大橋 昌美
岡崎 祐介
奥田 沙世
片山 舞

加藤 寅尾
加藤 瑞希
狩野 直敏
河本 彩花
金 利紗
工藤 義正
久保田 幸子
久保田 満
黒島 里歩
黒田 晴香
小西 真結
小西 ゆか
柴崎 美智子
清水 倫子
條 イサヲ
隅田 保

鄧 力
高柴 健一郎
武田 龍一
只野 未来
辰己 由衣
谷 正一
谷川 寛
谷川 由美子
坪倉 光哉
中谷 昭雄
仲原 成岳
中村 隆幸
西森 遥
西山 紗央理
橋本 明美
林 恵美子

平金 有一
平野 朱音
福島 眞一
藤好 基子
藤原 正巳
藤原 真由子
二見 早紀
松本 強
丸橋 一翔
三木 房子
箕浦 史郎
飯阪 雅善
八木 知加
若林 光子
和田 拓真
和田 直人

いきいきエイジングセンター
クリスマスロビーコンサート募金箱

いきいきエイジングセンター
チャリティーボウリング大会募金箱

株式会社ジャパンビバレッジウエスト
高校定時制クラスユニオン

土佐堀1階窓口献金箱

土佐堀7階献金箱

土佐堀YMCAチャリティーボウリング

なかのしまワイズメンズクラブ

六甲山氷の祭典やき芋売上

IHS街頭募金 IHS2013.3.29

YMCAリビング